

お申込みからご参加までの流れ

1 申込フォームからエントリー【受付期間 平成30年6月14日(木)～7月20日(金)】

- お申込みは、大学コンソーシアム八王子Webサイト上の申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上送信してください。URL: <http://www.gakuen-hachioji.jp/>
- 先着順にて受け付けいたします。
- 受付期間終了後、空きがある場合は引き続きお申込みを受け付けいたします。
- 申込フォームより送信後、入力された「申込者メールアドレス」宛に、申込受付メールを自動返信いたします。(※申込受付メールが届かない場合は、再送信せずに事務局までメールで団体名・申込者氏名・届かない旨をご連絡ください。)

2 参加費のお支払い【お支払期限 平成30年7月31日(火)】

- お申込み後、払込票をお送りいたします。
- 期限までに払込票に記載のあるコンビニエンスストアでお支払いください。
- 銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。
- 大学コンソーシアム八王子加盟団体・学生の方で情報交換会に参加しない場合は、無料です。
- お支払い後は、理由のいかんを問わず返金等には応じられませんのでご了承ください。

参加費(1名あたり)		
所属	フォーラム参加費	情報交換会費
大学コンソーシアム八王子加盟団体・学生全般	無料	4,000円
非加盟団体	1,000円	4,000円

3 参加証の受領【平成30年8月10日(金)まで】

- 参加費のお支払いが確認できましたら参加証をメールにてお送りいたします。

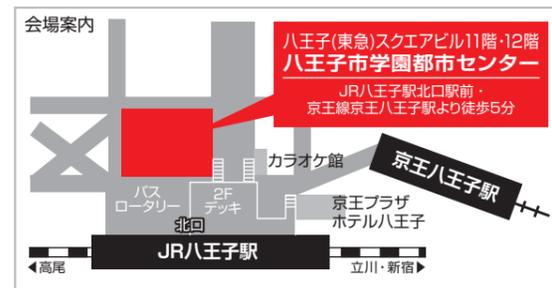
4 参加証の持参

- プリントアウトした参加証を開催当日、受付にてお見せください。

■お問合せ

大学コンソーシアム八王子事務局

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子(東急)スクエアビル11階
 TEL: 042(646)5740 FAX: 042(646)2663
 E-mail: entry_3@gakuen-hachioji.jp
<http://www.gakuen-hachioji.jp/>



FD・SD事業は、FD・SD専門委員会が企画・運営しています

●委員長 杉原 明(工学院大学) ●副委員長 岩清水 貴嗣(東京薬科大学) ●副委員長 望月 雅光(創価大学) ●相談役 前原 征司(明星大学)
 松嶋 めぐみ(工学院大学) / 二上 武生(工学院大学) / 上田 康弘(明星大学) / 西海石 洋介(杏林大学) / 西田 哲史(創価大学) / 飛田 昌彦(創価大学) /
 小林 光義(創価大学) / 千葉 まこと(東京薬科大学) / 沼尾 嘉千(東京薬科大学) / 新谷 尚之(首都大学東京) / 杉山 真弓(東京家政学院大学) / 鳥居 聖(桜美林大学)

『教育の質保証』の 実質化に向けて

—社会の要請に大学はどう応えるか—

主催：大学コンソーシアム八王子 共催：八王子市 後援：文部科学省

協力：HACHIOJI 公益社団法人八王子観光コンベンション協会
Hachioji Visitors & Convention Association

高尾山と人をむすぶ
高尾登山電鉄

開催趣旨

社会環境の変化により大学教育の役割が多様化する中で、大学は国や産業界を含む社会全般から「教育の質保証」を求められている。しかしながら、質保証の具体的方法については多くの部分が大学の自主性に任せられ、どのような取り組みによって大学の質が担保されるのかの評価は定まっていない。本フォーラムでは、教育評価を中心としたさまざまな質保証の事例等を通して、社会の要請に大学がどのように応えていくかを考えたい。初日の基調講演では、大学教育に専門分野を問わず求められる統合的な能力の評価法について、特に学習評価の直接評価の試

みに焦点を絞り、教育方法学に基づく研究・実践事例と、企業・社会の視点でデザインされた客観テストの事例について紹介する。パネルディスカッションでは、大学と産業界それぞれの立場からの意見交換により、大学の質保証の取り組みがより社会に認知され、実質的な成果をあげるための施策や方向性を考える。

2日目の分科会では、それぞれAP事業、SD、IR、財務、学生支援といった視点から、各大学が質保証の実質化のためにどのような取り組みを行えばよいかを参加者とともに考える場としたい。



「高尾山薬王院参道」八王子市/CC BY2.1



「浅川の桜」八王子市/CC BY2.1



「花火大会」八王子市/CC BY2.1



日時 平成30年 8/23(木)・24(金) 2日間開催 ※詳細は2～3ページをご覧ください

8/23(木)

12:40～17:10 基調講演・パネルディスカッション

18:30～20:00 情報交換会

※シャトルバス、ケーブルカーにて移動
17:30 フォーラム会場発
21:00頃 八王子駅北口にて解散

8/24(金)

9:30～12:00/13:30～16:00 分科会

会場

八王子市学園都市センター イベントホール・ギャラリーホール・第1～5セミナー室
 〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子(東急)スクエアビル11階・12階

対象

- 大学コンソーシアム八王子加盟団体及び全国の大学教職員・学生、一般
- 学校教諭 ●八王子市役所職員

※大学コンソーシアム八王子加盟校の教職員・学生を優先とさせていただきます。



8/23木

■ 挨拶 平野 博紀氏
(文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長)
■ 基調講演・パネルディスカッション

開催時間 12:40～17:10 会場 学園都市センター 12階 イベントホール



学生の能力を評価・育成する
方法としてのパフォーマンス評価
— 科目レベルからプログラムレベルへ —

「パフォーマンス評価」とは、さまざまな知識やスキルなどを用いながら生み出される学習者のパフォーマンス(作品や実演)をもとに、学習者の能力を質的に評価する方法であり、学校段階を問わず多くの国々で注目を集めている。だが、特定の科目の教育内容に深く関連したこの評価方法は、日本の高等教育では、科目レベルの評価にとどまり、プログラムレベルの評価にはあまり使われていない。この講演では、科目レベルとプログラムレベルをつなぐ新しい考え方(PEPA)を提案し、大学と社会をつなぐ学生の能力を評価・育成する方法としてのパフォーマンス評価の有効性を示したい。

■ 講師 松下 佳代氏 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授
京都大学大学院教育学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学博士(教育学)。京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授等を経て、2004年より現職。現在、大学教育学会副会長、日本カリキュラム学会代表理事、日本教育方法学会理事、日本学術会議会員等を務める。専門は教育方法学(特に、学習論、能力論、評価論)。能力はどう形成され評価されるのかに関心をもち、初等・中等教育と高等教育の共通性と差異に着目しながら研究を進めている。



大学教育における汎用的能力測定
テストの位置づけとその活用視座
— 社会で活躍するための指針を与える汎用的
能力測定テストによる教育評価の試み —

汎用的能力育成の重要性についての議論は、昨今、高大接続改革や高等教育研究の文脈の中でさまざまに議論されている。河合塾では、日本の中では比較的早い時期よりその測定方法の開発に高い関心をもって取り組み、(株)リアセックと協同して2012年度にPROGテストを上梓した。本講演では、これまで実施してきたPROGテストの結果からみえてきたことをデータで示しつつ、大学教育におけるその位置づけ方や、こうしたテストの活用視座についての提言を行う。

■ 講師 野吾 教行氏 学校法人河合塾 教育イノベーション本部 教育研究部
首都大学東京大学院社会科学部研究科修士課程修了(経営学)。2010年より河合塾大学教育力調査プロジェクトに参加し、「大学のアクティブラーニング調査(2010～2015年度)」「グローバル社会に対応した大学教育調査(2016～2017年度)」に取り組み、これらの成果を河合塾編者による書籍やセミナーなどを通して発信してきた。特に2017年度調査では、文部科学省委託「日本人の海外留学の効果測定に関する調査研究」の枠組みのもと、そのプロジェクトリーダーとして同調査研究を推進してきた。広島大学高等教育研究開発センター客員研究員を兼任。

パネルディスカッション

〈パネリスト〉

- 松下 佳代氏 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授
- 野吾 教行氏 学校法人河合塾 教育イノベーション本部 教育研究部
- 平野 博紀氏 文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長

〈ファシリテーター〉

- 望月 雅光氏 創価大学 教育・学習支援センター長



情報交換会

(公社)八王子観光コンベンション協会では、大学や先端産業企業の集積、高尾山等の観光資源などの強みを活かし、MICE(多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称)の誘致に取り組んでいます。その一環として、高尾登山電鉄株式会社の協力のもと情報交換会を今回高尾山にて開催いたします。

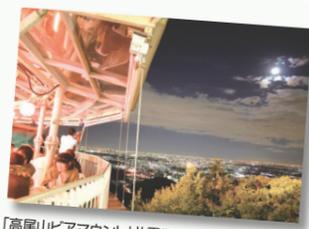
内容: 講師・参加者の交流 出展者紹介
日時: 8月23日(木) 18:30～20:00

(17:30八王子(東急)スクエアビル前集合 21:00JR八王子駅北口にて解散)

会場: 高尾山ビアマウント

会費: 4,000円(往復のバス、ケーブルカー代含む)

※本情報交換会に関わる会場及び会場までの移動手段は、有限会社さかやツアーリスト(東京都知事登録旅行業3-3943)が手配いたします。



「高尾山ビアマウント」八王子市/CC BY2.1



「秋の高尾山」八王子市/CC BY2.1

8/24金

■ 分科会

開催時間 9:30～16:00

会場 学園都市センター 各セミナー室等

第1分科会

持続可能な質保証と大学教育改革を考える
— 質保証の実質化と課題を、事例に基づき考える (AP事業合同報告会) —

■ 対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者

大学教育では、入口から出口まで、多様な方法により、質保証の強化が推進されています。その一方、志願者の減少や教育現場の疲弊を始めとして、大学は多くの課題を抱えており、また、学修成果の設定・測定・活用といった内部質保証への取組は大きな課題となっております。今回、第一分科会では、質保証を伴った大学教育のあり方、それを支える組織体制・人材育成について、基調講演をいただきます。また、大学コンソーシアム八王子において、文部科学省大学教育再生加速プログラムに採択されている大学の取組事例を通じて、教育改革の動向とその課題を共有する場にしたいと考えております。

大学教育再生加速プログラム(AP)について

■ 講師 河本 達毅氏 文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室 改革支援第二係長

アセスメントポリシーと学生支援型IRを活用した
教育改革と学修成果の構築

■ 講師 濱名 篤氏 関西国際大学学長・学校法人濱名学院理事長

1987年 上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。2004年 博士(社会学) 関西国際大学人間学部教授、同大学高等教育研究所所長、初年次教育研究開発センター長、副学長を経て現職。専門: 教育社会学・高等教育論 主要著作: 『初年次教育—歴史・理論・実践と世界の動向』(共編著、丸善、2006年)、『後発大学の挑戦と教育改革—地方小規模大学の社会的役割と可能性—(仮)』(単著、東信堂、2018年)

第2分科会

大学職員の「仕事の質を高める」
— 何を経験し、どこで身につけるべきか —

■ 対象者 大学職員

仕事の質に差が出るのは何故でしょうか。心構えの問題なのでしょうか、知識や経験の差なのでしょうか。それは、大学職員特有の課題なのでしょうか。本分科会では、大学職員の「仕事の質」に影響を及ぼすことを整理した後、質を高めるために有用な仕事のコツ(論理的に考える、根拠を踏まえる、適切に判断する 等)を身に付けるためのワークを行います。

*大学職員2年目〜中堅職員までをメインターゲットとして実施します。

■ 講師 宮林 常崇氏 公立大学法人首都大学東京 首都大学東京管理部 URA室長

民間企業に勤務の後、2010年に公立大学法人首都大学東京へ入職。自己点検・評価、全学教育改革、3ポリシー策定、文部科学省外向、国際副専攻プログラム立ち上げ、全学教務総括、日野キャンパス管理等に従事し、2018年4月から現職。大学勤務の傍ら大学院(経済学)を修了。大学教務実践研究会事務局長、公立大学職員SDフォーラム代表、名古屋大学高等教育研究センターSD研究会メンバー等を務める。

第4分科会

学校法人の財務を知る
— 財務諸表の見方 —

■ 対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者

学校法人の財務基盤の確立は、質保証を含む大学改革の前提として重要である。では実際に個々の教職員が自大学の財務状況を理解しているか。分科会では、経理関連部署以外に所属する人を対象に、演習を交えながら(仕訳から財務諸表の作成と財務分析まで)学校法人の財務状況を理解することを目的とします。参加者の所属する学校法人の財務諸表を持参いただければ、その資料を使って財務分析をすることも可能です。

■ 講師 杉崎 正彦氏 NPO法人 学校経理研究会理事

二つの私立大学で長期にわたり経理を担当、財務部長等を務める。月刊誌「学校法人」編集委員 大学マネジメント研究会副会長 一般社団法人大学行政管理学会理事 元大学基準協会財務評価分科会委員 元大学監査協会財務・会計委員会委員・同元学術監査委員会委員 第8回大学行政管理学会孫福賞受賞 共著: 「これならわかる!学校会計」(大学行政管理学会財務研究グループ編著、平成28年改訂版、学校経理研究会刊)

第3分科会

データ分析演習
— 学生の縦断調査から得たデータの
実証分析入門 —

■ 対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者

学生が同一設問を各年次に回答する学生調査があるとします。その学生調査から得たデータを、どのように分析すれば良いでしょうか。こうした疑問を持ったことがある、あるいはこうした問いに関心がある大学関係者を対象に、仮説を立てて実証分析する練習を行います。

■ 講師 日下田 岳史氏 大正大学 エンrollment・マネジメント研究所 専任講師

大正大学で教育社会学や高等教育論に関わる教育・研究に従事するとともに、エンrollment・マネジメントのためのIRを担っている。博士(教育学)東京大学。

第5分科会

正課外教育の成果と質を考える
— あらゆる正課外教育に関心を持つ
教職員の懇談会 —

■ 対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者

大学教育は単位化された正課のカリキュラムのみでなく、キャリア支援や課外活動支援など、正課外にまたがる活動も教育の要素であると考えられます。そこでこの分科会では、主にこれらの活動を担当するあるいは関心を持つ職員や教員のみならず、ご参加いただき、参加者の事例、悩み、問題意識を共有しつつ、正課外教育の質の向上や成果について、また正課のカリキュラムや授業との連携などについて、ワークショップ形式で考えます。

■ 講師 二上 武生氏 工学院大学 教育推進機構国際キャリア科 教授(教育開発センター 主幹)

1988年、早稲田大学理工大学院修了後、株式会社リクルートへ入社。入社後、営業の技術サポート、新技術開発、システム開発、業務構造改革、新サービス立上げに従事。2012年5月末にリクルート退社後、2013年4月から工学院大学に勤務。現在、初年次科目、キャリア系科目を担当し、就職支援、課外活動支援に関わる。他20以上の大学でのキャリア講座や、高校のキャリア講座、社会人の転職支援を行う。(研究キーワード: キャリア教育、ライティング教育、コミュニケーション、リーダーシップ、インターンシップ、人材育成)